

# 令和6年度

## ときょうすくわくプログラム実践報告会



昭和38年度 開園

平成29年 成木保育園新園舎完成

社会福祉法人 成木保育園

# 成木保育園

# 青梅市成木4-683-5



# 成木保育園経営計画

## <保育理念>

自然を生かし一人一人の子どもを大切に、地域社会と力を合わせ健康な心と身体を育てる

## <保育方針>

- 1 豊かな人間性をもった子どもを育成する
- 2 健康と安全を基本にして保護者の協力の下に家庭との緊密な連携をとる
- 3 健康安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることにより、健全な心身の発達を図る
- 4 保育に関する要望や意見・相談に際しては、解りやすい用語で説明して公的施設としての社会的責任を果たす

## <保育目標>

- 健康な子
- 自主性のある子
- 思いやりのある子
- 考えて工夫する子
- あいさつのできる子

## <養護の理念>

- 1 一人一人の子どもが健康で安全に過ごせるようにする
- 2 一人一人の子どもの生理的欲求が十分に満たされるようにする
- 3 一人一人の子どもが意欲的に生活できるようにする

## <めざす園児像(生きる力)>

- 体(健やかな体)**・心身ともに健康でたくましい園児
  - ・体力を育み体を動かすことをいとわない園児
- 徳(豊かな心)**・自然を愛し自他を大切にできる園児
  - ・規範意識のある園児
- 知(確かな学力)**・自ら学び、自ら考え、自ら行動する園児
  - ・国際社会で生きていく力を身につけられる園児

## <めざす保育園像>

- ① 安全で安心、きれいな保育園
- ② 豊かな心の育成に努める保育園
- ③ 小学校との円滑な学びの接続の保育園
- ④ 園児、家庭、地域から信頼される保育園

## <めざす保育士像>

- ① 園児と活動を共にする (師弟同行)
- ② 園児と感動を共にする (共感)
- ③ 園児を深く正しく理解する (信頼関係)

## <育みたい資質・能力> (5つの領域)

- 健康 (心身の健康に関する領域) いろいろな遊びの中で体を動かす
- 人間関係 (人との関わりに関する領域) 友達と共に過ごす喜びを味わう
- 環境 (身近な環境との関係に関する領域) 物の性質に対する感覚を豊かにする
- 言葉 (言葉の獲得に関する領域) 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう
- 表現 (感性と表現に関する領域) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ

# 特色ある保育活動(1)

## 「特別保育」 専門の先生が指導

- なりキッズ体操クラブ (体操教室)
- L e t s ! ! ダンス (ダンス教室)
- 英語で遊ぼう！ (英語教室)
- 成木ちびっ鼓代神 (和太鼓教室)

# 特色ある保育活動(2)

## 自然体験(食育①)

園畑でじゃがいも、さつまいも栽培・収穫・食



# 特色ある保育活動(2)

- ミニトマト、なす、ピーマン、すいか等栽培・収穫・食
- 保護者に収穫した野菜を販売（売上金を青梅市社会福祉協議会に寄付）

## 自然体験(食育②)





# 特色ある保育活動(2)

## 自然体験(川・山)

- 成木川で水泳・川遊び
- ます・ヤマメつかみ取り
- 天ヶ指の森で山林体験



# 特色ある保育活動(2)

- 梅もぎ (梅シロップ作り)
- 蚕の飼育 (繭玉飾り作成)
- 栗拾い (成木地区)
- カブトムシの飼育
- ヤマメの卵・孵化

## 自然・生き物体験



# 特色ある保育活動(3)

## 小学校・地域との連携

- 成木小との交流
- 成木地区との連携
  - ・盆踊り大会
  - ・成木文化祭
  - ・高齢者交流



<テーマ>

# 自然活動を生かした探究活動



天ヶ指の森

～森林体験を通して～



成木保育園

# 問い、

- ①成木保育園の良いところは何だろうか？  
⇒皆の仲が良いところ。園舎がとても新しくきれい。  
園の周りの自然がとても豊か。成木川や山がすぐ近くにある。
- ②山の森を見て何を感じますか？  
⇒緑がいっぱい。色々な木がはえている。秋は紅葉でとてもきれい。
- ③この木から何が作られているのかな？  
⇒私たちの園舎。木の匂いがする。家や床、木のおもちゃ、家具など。庭のベンチも木で作ってある。
- ④では、ベンチを皆で作ってみようか？  
⇒作りたい。どうやって作るの？木をきろう！
- ⑤近くの山に入って木を伐採してベンチを作ってみよう

# 環境デザイン ①

## ○近くの「天ヶ指の森」を活用する

成木地区の檜島安様所有の山林「天ヶ指の森」を活用させていただく。園児が入山しても安全な山であることや園から近くいつでも行ける森であるので。

## ○講師の先生に指導してもらおう

成木地区の「中島製材所」中島大輔様と「東京薪割ブルース」山田茂様に講師をしてもらい園児に森の講和や実技指導をお願いする。

## ○年中、年長の幼児を対象とする

木を伐採したりベンチ作りができる5歳児を対象とする。

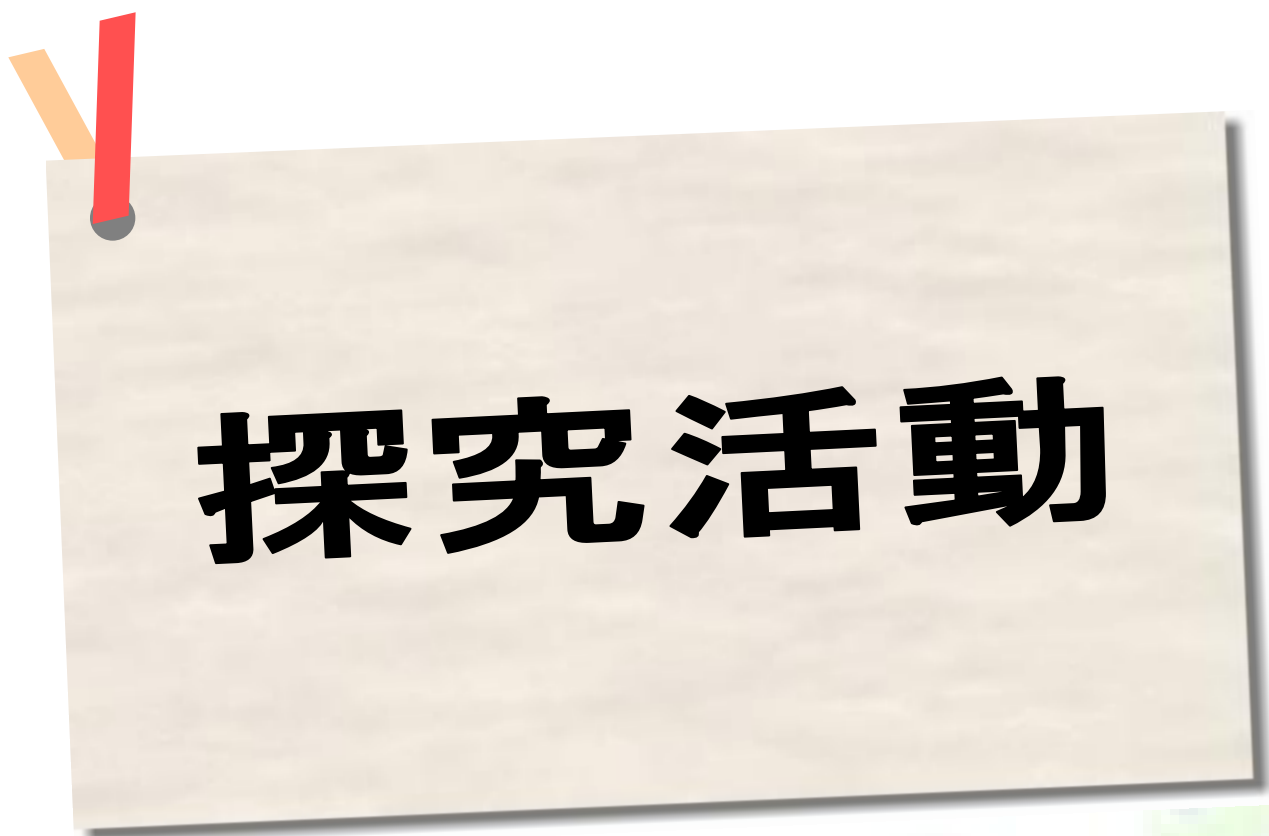
# 環境デザイン ②

## ○持ち物等(道具)

入山するので、長ズボン・長袖の上着を着用させ、軍手を用意する。また、危険防止のため、ヘルメットを着用させる。水分補給の麦茶や救急セット等を持参する。保育園と緊急連絡ができるようにスマホまたはトランシーバーを持参する。

## ○ベンチ作りは、講師の先生の指導の下、園児に取り組ませる

できる範囲で園児に作らせる。できた喜びを体験させたい。



# 探究活動





# 探究活動の流れと実践記録

## Step 1

○園庭遊びをしている中で  
保育者が子ども達に  
「問い」を投げかける



「問い」 ①成木保育園の良いところは何だと思う？

- (注) ・ チーム遊びをしているグループごとに発表させる。  
・ 子ども達が思ったことを何でも拾い上げる。  
・ 保育者は、子ども達の話最後までじっくり聞いてあげる。

# 探究活動の流れと実践記録

## Step 1

### 【実践記録】

- お友達皆が仲の良いところ
- 保育園の家がとてもきれい
- 保育園バスがある
- アメリカの先生が英語を教えてくれる
- 太鼓や体操、ダンスも教えてくれる
- 畑があってそこでジャガイモやサツマイモをいっぱい作って皆で食べることができる
- 川が目の前にあって川遊びがいつでもできる
- 夏は泳げていい
- 山もすぐ前にあってとてもきれい



# 探究活動の流れと実践記録

## Step2

○園庭で、保育者が子ども達に  
「問い」を投げかける

「問い」② ここから見える山の森を見て何を感じますか？

「問い」③ この木から何が作られているのかな？

- (注) ・一クラスを4チームに分け、全員が発表できるようにさせる。  
・子ども達が思ったことを何でも拾い上げる。  
・保育者は、子ども達の話最後までじっくり聞いてあげる。



# 探究活動の流れと実践記録

## Step2

### 【実践記録】

- ②
- ・ 山の緑と空の青さがいい感じ
  - ・ なんとなくいい
  - ・ 木がいっぱいある
  - ・ 木がきちっと並んでいる
  - ・ 濃い緑の木とそうでない木もある
  - ・ 秋は赤と黄色の色に染まってきれい
- ③
- ・ 保育園の家
  - ・ 家の廊下や柱
  - ・ 木はいい匂い
  - ・ 今、遊んでいる木のおもちゃ
  - ・ 物を入れる箱
  - ・ 今、座っているベンチ
  - ・ いっぱいあるよ



# 探究活動の流れと実践記録

## Step3

○教室で、保育者が子ども達に「問い」を投げかける



「問い」④ では、ベンチを皆で作ってみようか？  
どうやって作ろうか？

- (注)
- ・一人ひとりにベンチをどうやったら作れるか考えさせる。
  - ・一人ひとりに考えを発表させる。
  - ・子ども達が思ったことを何でも拾い上げる。
  - ・保育者は、子ども達の話最後までじっくり聞いてあげる。

# 探究活動の流れと実践記録

## Step3

### 【実践記録】



- まず木を切ることが必要
- どんな木を切ったらいいのかなあ、わからない
- ベンチを買ってくるのはどうかな
- 木を切ってからどうやってベンチを作ったらいいのかなあ?
- のこぎりやくぎを使ってつくろう!
- いろいろなベンチがあるからできるだけ簡単なベンチにしよう。
- 保育園の庭にあるようなベンチにしたい。



# 探究活動の実践



# 探究活動の実践

## Step 1

森について講師の中島大輔先生  
が講和する



- 「森」って何だろう！  
⇒木がいっぱい生えている所、人の手が入っていない所
- 保育園から見える山の木の種類は？  
⇒一年中緑がきれいな木(針葉樹)  
スギ・ヒノキ・モミ・マツの木など  
スギは、成木地区で1番多い木  
ヒノキは、成木地区で2番目に多い木  
葉っぱが細くとがった形  
成長が早く軽い・加工しやすい材質  
ハードウッド  
建具や林業火の火付け木として利用



- 保育園から見える山の木の種類は?
  - ⇒冬になると葉っぱが落ちちゃう木(広葉樹)  
クヌギ・ナラ・ケヤキ・クリの木など  
葉っぱが広くて平べったい形  
常緑もあるがほとんど落葉樹で冬に葉っぱが赤や黄色などに色づいて落ちる  
成長が遅く重い・硬い材質  
ソフトウッド  
床材や家具、薪として利用
- ベンチを作るにはどんな木を使おうか?
  - ⇒簡単に切れる木がいい  
柔らかい木がいい  
軽い木がいいなあ

**スギにしよう!**



# 探究活動の実践

## Step2

「天ヶ指の森」に行ってベンチの木を切ろう

○「天ヶ指の森」の場所

⇒成木小学校の裏山、保育園から園バスで3分の距離、森にはトイレも設置

○入山した時の園児の様子

- ⇒ ・ すごいいっぱい木ばかり
- ・ 日が当たっていない、涼しい、気持ちいい、温度が低い、暗い
- ・ 木の下はこの植物は何?  
シダやアオキが伸びている
- ・ スギやヒノキが大きくてビックリ!大きい
- ・ 山道が狭いなあ



# 探究活動の実践



- 講師の中島先生と山田先生から「天ヶ指の森」の話を聞く
- ⇒
- ・この森は昔から成木地区にあり材木を切って生活していた
  - ・森の中は、皆が生活している場所と違い気温等がたいぶ違う(涼しい)
  - ・この森は、スギとケヤキが多く樹齢が50年近く経っている
  - ・とても太く長い木が多いけど、中には細く短い木もあるね
- 何で大きい木と小さい木があるのかな？

**細く短い木を切ってベンチを作ろう!**

# 探究活動の実践

○細く短い木を切ることで他の木を成長させる(間引き、伐採)

⇒・小さい木を切れば、木と木の間が空いて自然と太陽の光が入るね。そうすれば、木はもっと大きくなるね。

- ・大きい木の下はあまり草がはえていないね。きっと暗いから生えないんだね。
- ・だから細い短い木を切ることが必要なんだ。



# 探究活動の実践

## Step3

### スギの木を切ろう

○講師の中島先生と山田先生から木を切る方法を聞く

- ①大きなノコギリで木の幹の根元に半分くらいまで切り込む  
⇒ぞう組一人ひとりが全員交替で大きなノコギリを使い切る  
(先生に手助けしてもらいながら)



# 探究活動の実践

- ②次にノコギリで切り込んだ幹の反対部分にオノでくさびを入れ倒しやすくする  
⇒ぞう組一人ひとりが全員交替でオノでくさびを入れる  
(先生に手助けしてもらいながら)

- ③長い木にロープをかけ滑車を使い  
全員の力でロープを引っ張り木を  
倒す



# 探究活動の実践

## Step4

### 倒した木を調べよう

○気がついたことを調べ考えよう！  
(中島先生と山田先生が説明)

①この木の年齢は何才だろうか？

10歳、20歳、30歳・・・

⇒木を切った幹の年輪を調べるとわかる。皆で輪の数を数える。何と50年!!  
周りの木と同じ年齢だが、育ちが悪く短い。

②木の皮がきれいにむけ、木がすべすべしている。

⇒木は水分を吸って生きているのですべすべしている。



# 探究活動の実践

## Step5

### 倒した木を皆で運ぼう

○倒した木を運びやすいように短く切って6人で一つの丸太を運ぶ  
(中島先生と山田先生に援助してもらおう)

①木の重さを実感させる  
⇒ ・何でこんなに重いのか？

- ・何か詰まっているみたい
- ・皆で運ぶと重いものも運べるね
- ・疲れるね
- ・長い距離は運べないなあ
- ・木を運ぶ人は力持ちだなあ
- ・足元に気をつけて!!





# 探究活動の実践

## Step6

### 木の皮をむく!!

○木を乾燥させるために皮をむく  
(中島先生と山田先生に指導してもらおう)

①どうしたら皮がむけるか?

⇒・手でむくと大変 手が痛い なかなかむけない



- ・皮むき用の刃物でむくと簡単
- ・皮が一気にむけるね
- ・皮をむいた木は、すべすべ水がついているような感じ
- ・この木を乾かして椅子をつくるんだ
- ・皮むきは力があるね



# 探究活動の実践

## Step7

### ベンチを作ろう(完成)

○椅子のパーツを組み立て、ベンチを完成させる  
(中島先生と山田先生に援助してもらおう)

①それぞれのパーツを組み立てる

⇒・組み立ての感想は？



- ・パズルみたいで面白い
- ・15個も木のパーツがあるよ
- ・すごい大きなベンチになりそう
- ・木の香りがして気持ちいい
- ・スギからこんな立派なベンチになるんだ
- ・木がすべすべして座りやすそう
- ・組み立てはおもしろいなあ

# 探究活動の実践

## Step8

### ベンチを作ろう(完成)

○組み立てたベンチをチョウツガイでつないで完成  
(中島先生と山田先生に援助してもらおう)


①皆で作ったベンチが完成!!

⇒・出来上がった感想は?



- ・ やったー！　すごい　うれしい
- ・ 僕たちでも作れるんだあ
- ・ こんなにすごいベンチになるとは思わなかった
- ・ 一本の木からできるんだ
- ・ 全員が座れるほどの立派なベンチになってうれしい
- ・ ここで皆でお昼をたべたい





**探究活動の成果と  
今後の取り組み**



# 探究活動の成果

## 1 園児に様々な変容がみられた

自然体験をすることで、普段見られない子ども達の一面を知ることができた

## 2 園児の気づきを大切にできた

保育者の発問の仕方を工夫し、園児の話をじっくりと聞くことにより、園児の様々な気づきを導き出すことができた

# 探究活動の成果

## 3 体験活動をすることで園児の興味・関心が高まった

実際に森に入り、視覚的にまた体験を通して子ども達の様々な興味・関心をかりたてた

## 4 保育者が園児に対する目線や捉え方を見直すきっかけになった

子ども達一人ひとりには、色々な発想があり保育者は、それを大切にしなければいけないと改めて感じた

# 探究活動の成果（まとめ）

○森林体験を通して、園児が自分達で考え探究していくことが、子ども達が成長していくうえで必要であると感じた

○園児が感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しんでいる姿を見て、感性と表現が育っていると感じた。

○この探究活動が本園のめざす園児像「いきる力」につながると考える

# 今後の取り組みについて

- 来年度も「森林活動」を継続させながら、令和7年度以降は、本園の強みである自然体験を生かした「野菜作り」や「川遊び」、「梅もぎ」、「繭玉飾り」等を探究活動として取り組んでいく。
- 本園のめざす園児像「いきる力」を達成のためあらゆる活動を推進していく。





# 成木保育園